

「たからづか学校応援団」 ～できることを、できるときに、できることから～

兵庫県宝塚市

活動名

宝塚市学校支援地域本部

関係する学校

市内小・中学校 33校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	学校支援地域本部	10人	1062人	20年度	有	有	無	無
放課後子供教室	コーディネーター	子供の平均参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	実施場所					開始年度	放課後児童クラブとの連携	
コミュニティスクール	指定日					委員数	児童生徒数	学級数

活動の概要・経緯
 地域の子供を犯罪から守るという思い、自分たちが昔行っていて今は行うことが難しくなっている活動を子供たちにも経験させたいという思い、地域の人に学校に入って子供たちを見守ってほしいという学校・家庭・地域の思いから、平成20年度より宝塚市学校支援地域本部事業が開始された。「できることを、できるときに、できることから少しずつ」をテーマに、緩やかなボランティア活動が行われている。現在では、「草引き集会」、「育成会下校児童見守り」、「卒業式前花壇整備」等の環境整備や、「黒豆収穫祭」、「アコーディオン指導補助」、「ミシン指導補助」等の教科等指導補助、特別支援児童の校外学習引率、行事への協力等多種多様な活動が、年間を通して安定的に行われている。

特徴

【特徴的な活動内容】

- ・学校コーディネーターを中心に、自治会、まちづくり協議会、PTAなどの団体と学校支援地域本部事業との連携が図れている。また、学校コーディネーターの活動を調整する総括コーディネーターを配置しており、全市的な活動が活発に行われている。
- ・ボランティア活動にとどまらず、子供の安全を守る会議等に出席するなど、学校コーディネーターが話し合いの場に積極的に参加し協議している。
- ・母語指導に当たる外国籍の方、学校支援ボランティアの卒業生、各種免許保持者がボランティアとして参加しており、子供たちが多様な経験を積むことができる環境が整えられている。

【実施に当たっての工夫】

- ・各コーディネーターによる広報活動（案内活動チラシのポスティング等）のみならず、全市民を対象とした年2回のボランティア研修会や自治会回覧の実施を行うことにより、人材の確保に努めている。また、学校への制度周知のため、全市的に活動を行う総括コーディネーターによる新任校長訪問を行っている。
- ・学校コーディネーター及び総括コーディネーターによる会議を学期ごとに開催（年3回）しており、効果的な支援活動の方法や共通課題の認識などの情報交換を定期的に行っている。

事業を実施して

- ・学校側からは、「人材探しや活動の連絡をする必要がなくなってきた。」「地域との関係が深まってきた。」「子供たちの挨拶や言葉遣いに変化してきた。」などの声がある。
- ・ボランティアからは、「学校が身近なものに感じられた。」「子供たちや先生から声をかけられることが増え、元気がもらえている。」「自分の生きがいになっている。」「保護者やボランティアからも声をかけられ地域のきずなが深まった。」などの声がある。

その他

- ・学習支援活動として、たからづか寺子屋事業を実施している。
- ・子供たちからのお礼として、手作りのおまもりをもらったり、ボランティア感謝の集いが行われたりしている。
- ・全学校にコーディネーターを設置し、地域と学校の連携が促進することを目標としている。



ミシン指導補助



昔遊び